

平成20年度病害虫発生予報第6号(9月予報)

＜お知らせ＞ 施設野菜の病害虫防除に関するお知らせがあります(本号6～7頁参照)。
トマト黄化葉巻病に関するお知らせがあります(本号裏表紙参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

アレスミカンナガタマムシ (カンキツ)

学名 : *Agrilus alesi*



成虫



幼虫



脱出痕

(写真提供: 沖縄県農業研究センター)



葉の被害



幹の被害

生態と被害

成虫の体長は7～9mm。成虫は葉のふちを鋸歯状に食害し、発生の目安になる。幼虫は樹皮下にもぐり、始めは形成層を、のちに木部を不規則に食害する。幼虫は成長すると木部のより深部に移動し、蛹化する。羽化時には半月形の穴をあけて脱出する。成虫は3～11月に、幼虫は7～12月に観察されている。衰弱した木や老木に発生が多く、被害は集中する傾向がある。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。

平成20年9月1日

沖縄県病害虫防除技術センター